

<地域密着型サービス事業の整備計画について>

1. 第7期（H30～R2）及び第8期（R3～R5）介護保険事業計画期間中の整備計画について  
 第7期計画において、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を1事業所整備し、令和元年12月から2事業所となっている。

また、地域密着型通所介護について、令和3年度に公募し、令和3年11月から8事業所となっており、新たな整備は予定していない。

他の施設については、第8期計画期間中においては新たに整備する予定は無いが、今年度策定予定の第9期計画に向けて需要見込みを推計し、今後の施設整備を検討していく。

2. 今後の検討が必要なサービス

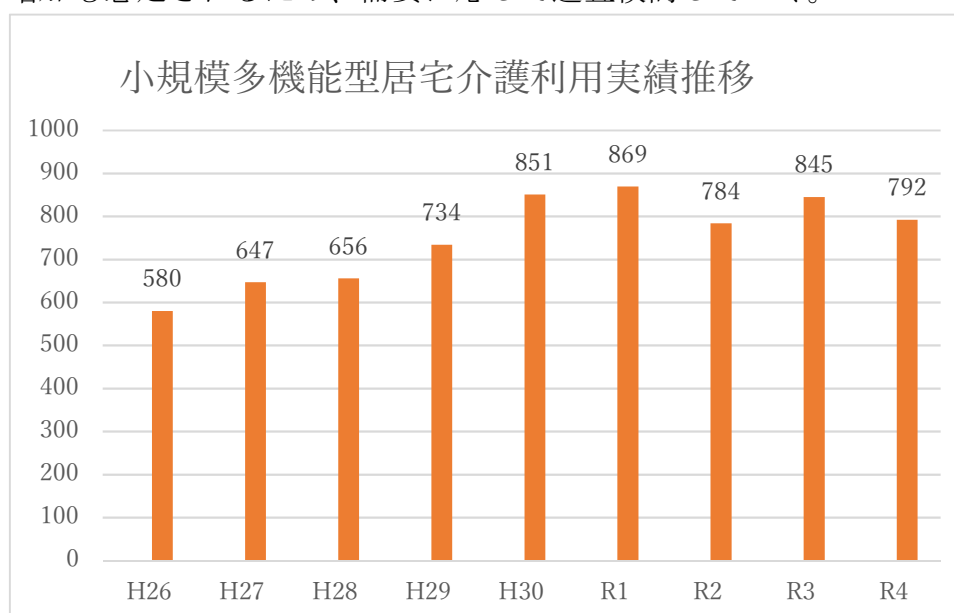
1) 認知症共同生活介護（グループホーム）

加東市には3施設45床あり、各生活圏域に1施設ずつ整備されている。待機者や入所者の状況を調査した結果では、どの施設も多数の待機者はないが、今後においても現在の床数で対応が可能であるかを分析する必要がある。

	施設数	定員
社圏域	1	9
滝野圏域	1	18
東条圏域	1	18
合計	3	45

2) 小規模多機能型居宅介護

加東市には3施設あり、各生活圏域に1施設ずつ整備されている。近年の利用実績は令和元年をピークに減少傾向となっているが、中長期的にみると利用者のニーズの増加も想定されるため、需要に応じて適宜検討していく。



### 3) 看護小規模多機能型居宅介護

現在、加東市には無いサービスである。今後、小規模多機能型居宅介護の利用者のうち、訪問看護の組み合わせが必要な利用者が増加した場合は整備していく必要があるが、市内に訪問看護事業所が7事業所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が2事業所あるため、それらの利用状況を踏まえて検討する。

兵庫県下 56事業所 (令和5年3月末現在)  
うち北播磨 2事業所 (加西市、小野市)

### 4) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (定員29人以下の小規模な介護老人福祉施設)

介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) の待機者は減少傾向となっている。また、31床のサービス付き高齢者向け住宅が令和3年6月に開設され入所施設としては増えている。しかしながら、高齢化に伴い段階的に利用者や待機者の増加も想定されるため、今後の利用状況等を踏まえて検討する。

